

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]  
(平成27年1月解析分)

## 1 今月のピックアップ

### (1) インフルエンザの流行状況について(「インフルエンザ警報」発令中(平成27年1月7日発令))

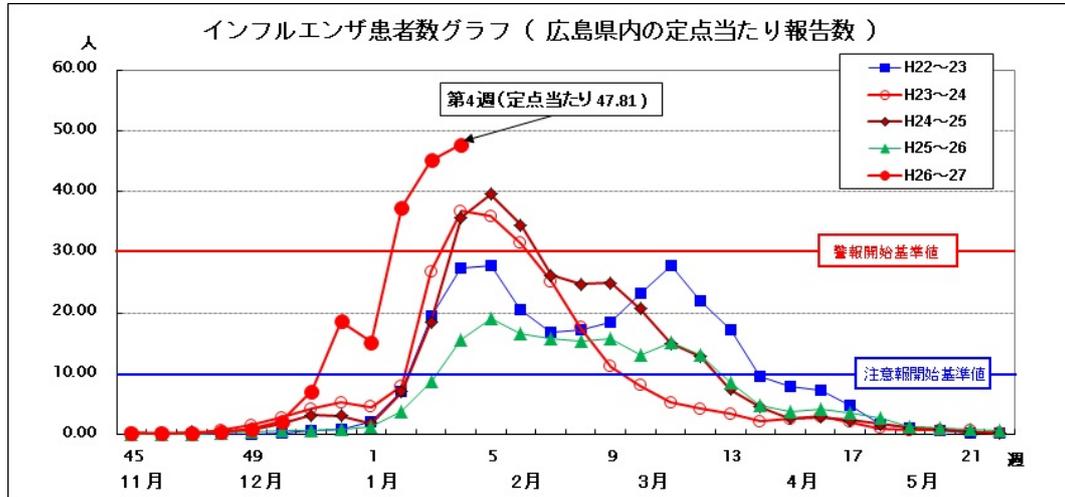
定点医療機関からの報告患者数が11月の126人から12月は3,277人と急増しました。

また、平成26年第52週(12月22日～12月28日)の定点医療機関からの報告患者数が西部東保健所管内で警報開始基準値(定点当たり30)以上となり、**インフルエンザの流行が本格的になったと考えられたため、平成27年1月7日、県内に「インフルエンザ警報」を発令しました(前回、警報を発令した平成24～25年シーズンよりも4週早い発令となります)。**

**警報発令後、定点医療機関からの報告患者数が急激に増加していますので、次の注意点を参考にいただき、感染予防、流行拡大防止の徹底をお願いします。**

#### インフルエンザを予防するための注意点

- 外から帰ったときだけでなくこまめに、流水と石けんで**“手洗い”**を励行しましょう。
- 睡眠をしっかりととり、偏食せずバランスの取れた食事を心がけ、体力をつけましょう。
- 咳エチケット**
  - 咳・くしゃみの症状がある場合は、人にうつさないためマスクを着用する。
  - 咳・くしゃみの際には、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむけて1m以上離れる。
  - 鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度(50%～60%)を保ちましょう。
- 人が集まる場所への外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、**早めに医療機関を受診しましょう。**  
特に基礎疾患(腎臓疾患、心臓疾患、呼吸器疾患等)をお持ちの方や、妊婦、高齢者、乳幼児は、合併症を起こしたり、重症化する恐れがありますので注意しましょう。



なお、最新の発生状況等については、次のホームページを御覧ください。

- 「インフルエンザの流行状況(警報を発令しています)」(広島県感染症・疾病管理センター「ひろしまCDC」)  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>

### (2) 感染性胃腸炎の流行状況について(「感染性胃腸炎警報」発令中(平成26年12月11日発令))

定点医療機関から報告患者数が11月の1,655人から12月は3,787人と急増しました。

感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、人から人へ感染する場合と二次汚染した食品から感染する場合があります。

**特に、ノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染予防及び流行拡大防止の徹底をお願いします。**

なお、最新の発生状況等については、次のホームページを御覧ください。

- 「感染性胃腸炎の流行状況(警報を発令しています)」(広島県感染症・疾病管理センター「ひろしまCDC」)  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ichoen-ryuukou.html>

## 2 疾患別定点情報

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成26年12月分(平成26年12月1日～平成26年12月28日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	3,277	7.16	6.00	↑	11	ヘルパンギーナ	24	0.08	0.02	→
2	RSウイルス感染症	664	2.32	1.57	→	12	流行性耳下腺炎	165	0.58	0.64	↘
3	咽頭結膜熱	123	0.43	0.83	→	13	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	819	2.86	1.42	↗	14	流行性角結膜炎	43	0.57	0.86	↘
5	感染性胃腸炎	3,787	13.24	12.20	↑	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	357	1.25	2.00	↗	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.03	
7	手足口病	335	1.17	0.28	↗	17	マイコプラズマ肺炎	15	0.18	0.30	↗
8	伝染性紅斑	4	0.01	0.12		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	135	0.47	0.44	→	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.06	—	
10	百日咳	7	0.02	0.06							

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成26年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	0	0.00	1.99	↘	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0.00	5.04	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	0	0.00	0.64	→	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	1.39	↗
22	尖圭コンジローマ	0	0.00	0.60	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.06	
23	淋菌感染症	0	0.00	0.92	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

#### 急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ(0.27 → 7.16)
- 急増疾患 感染性胃腸炎(5.75 → 13.24)

- 急減疾患 なし

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	40	結核(40)〔西部保健所(5),西部東保健所(3),東部保健所(3),北部保健所(2),広島市保健所(13),福山市保健所(10),呉市保健所(4)〕
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔西部保健所(1),福山市保健所(1)〕
四類	7	E型肝炎(1)〔広島市保健所〕,つつが虫病(4)〔広島市保健所〕,レジオネラ症(2)〔広島市保健所〕
五類全数	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)〔広島市保健所〕,クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所〕,ジアルジア症(1)〔福山市保健所〕,バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔福山市保健所〕,侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔西部保健所〕,劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所〕,梅毒(1)〔広島市保健所〕,後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所〕,破傷風(1)〔東部保健所〕